

■G6の続きで編集チーム会議

■集落の教科書（仮称）の材料集め

集落の教科書（仮称）の材料集めで、集落の催事、集落のルール、集落の魅力・歴史について分担して取材を進めています。近日中にまとめる予定です。また、畑地区の特産品やお店の紹介記事、得意技の持ち主への取材を進めたいと考えています。

（催事取材の件に関するやり取り）

- 先ほどお婆ちゃんに「馬ん子祝いを前やっていた楽しかったなあ」という話を聞いて、今度、復活されるということなので良かったと思います。
- 元々は、むかしは各家庭に馬か牛が1頭いて、馬の子が生れるとお祝いをするという事なだけども、各家庭を順繰りに回り、婦人会の方が料理をして、その家で宴会をするという催しだった。
- 子どものころは、その家の爺ちゃんとプロレスをやっていた。1軒1軒回るから間取りがだいたい分かっていた。
- 今度は新築された方の家を1軒1軒回ろうか。（一同笑い）



会議の風景

■はたモンのキャラクターが誕生しました！

古川記恵さんの原案を元にイメージを膨らませてみました。たぬきのようにも見えますが、これを畑地区に住む者どもの第1世代キャラクターとしておきます。男の子と女の子がいます。頭に載せているのは、どうやらシルクスイートらしいです。「みなさんいかがでしょうか」

今後、はたモンの「LINEスタンプ」や「Tシャツ」なんか作れるといいと思っています。



キャラクター原案：古川記恵さん
(永田暁洋さんの妹)



■震災記録集づくりに寄せて

震災記録集作成のための個別聞き取りにご協力ありがとうございました。20世帯の方からお話を伺うことができました。特に印象的だったのが「環境と生活のバランスがよい」という一言でした。みなさんのお話を伺いながら、地震後の大変さとともに畑地区の人に対する優しさを知ることができました。

また、野菜づくりや調理、音楽、スポーツなどの名人がいらっしゃることは、これからのむらづくりの重要な人材となって活躍され、さらに心地よく活力のある集落になっていくことが楽しみです。

※11/25 畑地区秋まつりで何かサプライズを企んでいるというウワサ、是非ご参加ください。

- 聞き取り者コメント -

はたモン便り

発行：畑地区編集チーム
編集：西原村震災復興推進課

はたモン便り第2号では10月24日に開催しました編集チーム会議の様子を中心にお知らせします。

■はたモンG6サミット10.24 結論：ここに住むことはそれだけで幸せなのです

はたモンG6サミットとは、編集チーム3名に加え、地震当時区長の上村さん、昨年区長の太田さん、現在区長の永田さんの6名による座談会です。地震当時のことや地区の将来像について議論しました。その一部を概要で紹介します。詳細は記録集に載せる予定です。

■震災当時の活動

- 坂口くんは、地震後の1ヶ月くらいではどのようなことが大事だったかい？
- 僕は、ほぼ1ヶ月間は消防団活動に従事していて、最初は交通整理にあたりました、あと・・・
- まず水なんだよ、あなたも水道復旧やってくれたじゃないか。復興にあたって最初に集落で取組んだのは水、なぜ水かという、水がなければトイレも使えない。田舎の人は、水があれば、とにかく小屋でも住める。それだけの強さを持っている。
- 記録集には畑地区の被害状況をしっかり押さえておいてほしい。集落に何軒あって全壊が何戸、水道や農地を含めて畑地区で受けた被害の規模を載せ、後世に伝えたい。また、神戸大学の学生ボランティアさんのことも是非載せたい。

■情報の収集と伝達

- 消防団は、村からの情報をLINEグループで共有していた。避難指示の時は積載車で1軒1軒回って「避難してください」と声かけしていた。
- 震災当時はみんな初めての経験で、村から区長を通じての連絡があるし、会合とかもあるので、個々で情報を把握するのは難しかったところもある。
- 大峯山が崩れるという噂が流れて、ちょうど梅雨がすぐにきたので、「雨が降るけん崩れるんじゃないか」と、それで何回か山に登った。その当時は余震に関係なく雨が降ると避難指示が出ていた。

■平成29年のイベント開催

- 震災では、子どもとお年寄りが一番打撃を受けているから、元気づけたいという思いから「イベントをやる」、「飲み方をやろう」ということになった。
- 県事業の里モンプロジェクトの補助を受けて、ひまわり植え付けから始まって、神戸大学の学生にも来

てもらって、けっこう色々イベントを開催した。
• 子ども達の心の傷は深かった。2階に寝ることができなかった。今では明るくなった。

■再生に向けて

- 今年は震災以前の状態に戻そうということです。コミュニケーション、結びつきを強めるということで、4月に震災2周年会を開き、来月25日運動会の日には以前やっていた「馬ん子祝い」を復活させます。
- 住民が減少することを心配したが、災害公営住宅に移ったお一人を除いて、飛び地に再建した人も「自治会は畑地区に残る」と言っているらしい。

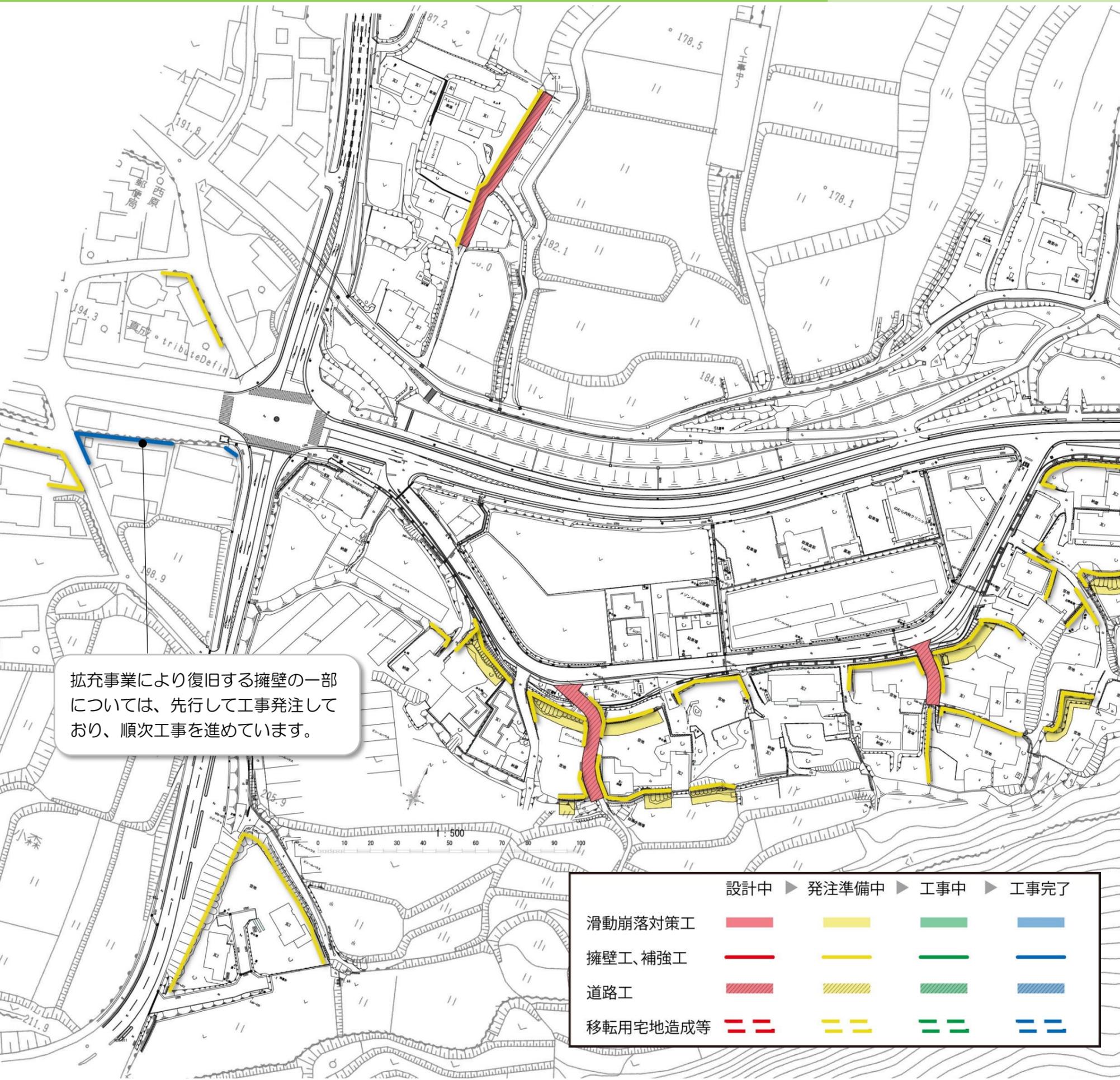
■これからの集落

- 畑は人情味がある。大きい集落ではないので小さい頃からみんなをよく知っている。みんなで協力して物事にあたるような地域性がある。
- 将来もこのままでいいと思っているんですよ。僕は熊本市内から来て集落に入らせていただいているんですけど、すごく入り易かったし、多少の不便さはあっても「以前とあまり変える必要はないかな」と思っています。強いてあげるならば、畑は若い世代が多い、その子ども達が「畑で暮らしたい」と思うように育ててほしい。



工事の進捗状況と今後の予定のお知らせ

畑集落は、11月中の工事発注に向けて積算を行っています。



拡充事業により復旧する擁壁の一部については、先行して工事発注しており、順次工事を進めています。

	設計中	発注準備中	工事中	工事完了
滑動崩落対策工				
擁壁工、補強工				
道路工				
移転用宅地造成等				

●用地測量 【準備完了、測量中】

- 道路を拡幅する箇所について、用地を分筆し買収するため、測量を行います。
- 公図や登記簿等の資料収集、用地買収範囲の座標化等の準備が完了し、11月から順次現地作業を始めます。

10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月~
	資料収集	用地測量				

●滑動崩落対策工 【工事発注中】

- 地震の揺れにより滑り崩れた宅地について、地盤にセメントを混ぜて固めるなどの対策を行い、地震に強い宅地にします。
- 現在、工事発注の手続きを進めており、11月に工事を発注し、工事が始まります。

10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月~
	工事発注	工事				

●擁壁工、補強工 【工事発注中】

- 地震の揺れにより滑り崩れた宅地について、擁壁を復旧したり、既存の擁壁を補強します。
- 現在、工事発注の手続きを進めており、11月に工事を発注し、工事が始まります。

10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月~
	工事発注	工事				

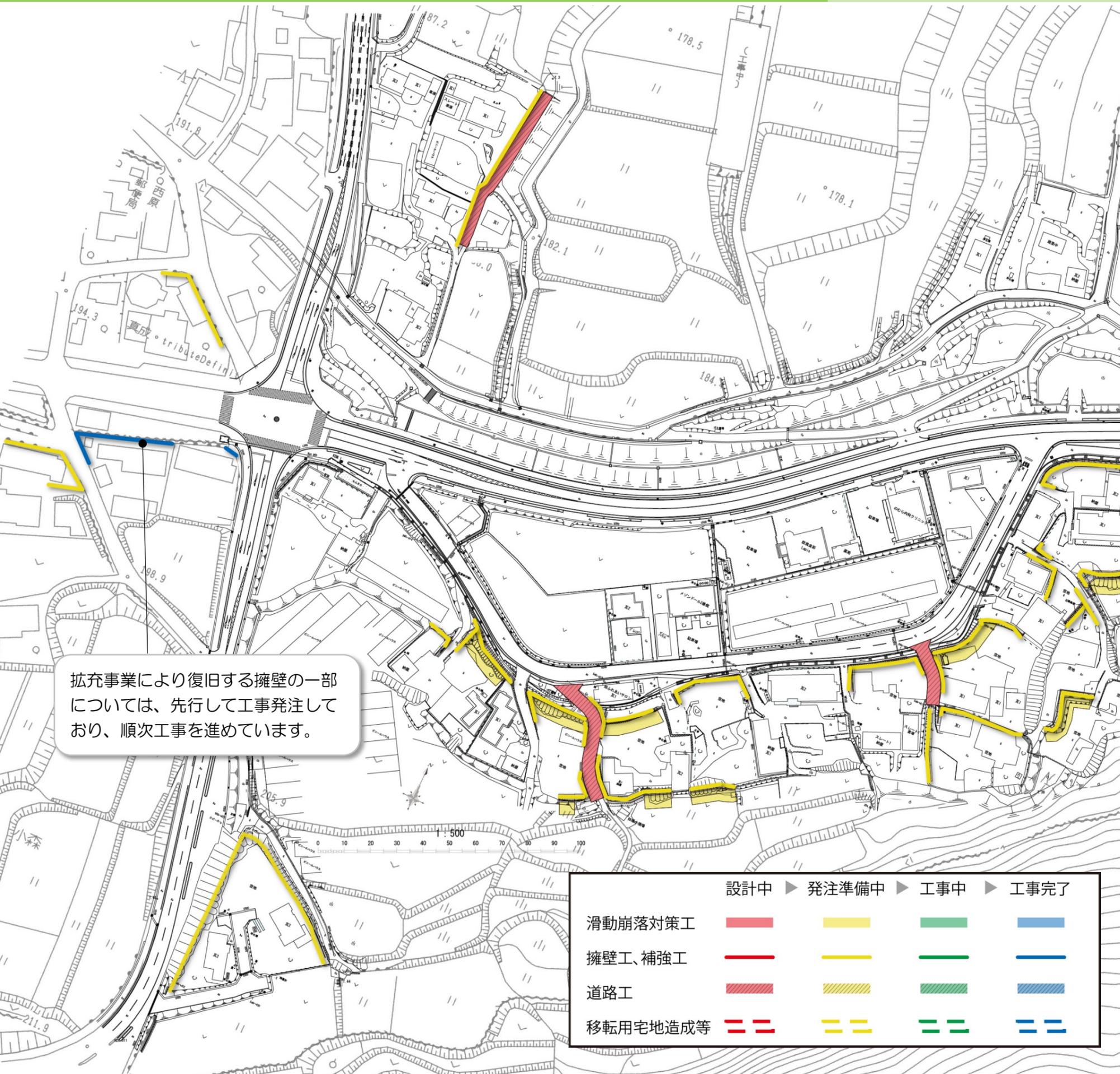
●道路工 【詳細設計中】

- 現在設計を進めており、その後工事発注の手続きを行い、工事発注となります。
- 工事中は一部の区間で通行止めが想定されます。

10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月~
	設計		工事発注	工事		

工事の進捗状況と今後の予定のお知らせ

畑集落は、11月中の工事発注に向けて積算を行っています。



拡充事業により復旧する擁壁の一部については、先行して工事発注しており、順次工事を進めています。

	設計中	発注準備中	工事中	工事完了
滑動崩落対策工				
擁壁工、補強工				
道路工				
移転用宅地造成等				

●用地測量 【準備完了、測量中】

- 道路を拡幅する箇所について、用地を分筆し買収するため、測量を行います。
- 公図や登記簿等の資料収集、用地買収範囲の座標化等の準備が完了し、11月から順次現地作業を始めます。

10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月～
	資料収集	用地測量				

●滑動崩落対策工 【工事発注中】

- 地震の揺れにより滑り崩れた宅地について、地盤にセメントを混ぜて固めるなどの対策を行い、地震に強い宅地にします。
- 現在、工事発注の手続きを進めており、11月に工事を発注し、工事が始まります。

10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月～
	工事発注	工事				

●擁壁工、補強工 【工事発注中】

- 地震の揺れにより滑り崩れた宅地について、擁壁を復旧したり、既存の擁壁を補強します。
- 現在、工事発注の手続きを進めており、11月に工事を発注し、工事が始まります。

10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月～
	工事発注	工事				

●道路工 【詳細設計中】

- 現在設計を進めており、その後工事発注の手続きを行い、工事発注となります。
- 工事中は一部の区間で通行止めが想定されます。

10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月～
	設計		工事発注	工事		